

楽器の生演奏に魅了

長崎県初のプロ室内オーケストラOMURA室内合奏団による「楽しいクラシック ニューイヤーコンサート」が1月18日、文化会館で行われました。

コンサートには市民など約300人が集まり、楽器の生演奏の美しい音色に魅了されていました。

また、子どもたちに音楽などに親しむきっかけを作ってもらうため、1月14日から17日にかけて、アウトリーチコンサート（弦楽四重奏）も行われました。福島、鷹島の小中学校の教室など6カ所に集まった生徒などが、演奏を聞いた後、実際に楽器に触れ、演奏を体験しました。



小学生が税について学ぶ

税金について学習する租税教室が、今年度も市内11カ所の小・中学校、高校で開催されました。

平戸税務署や松浦市、松浦商工会議所などで組織する松浦市租税教育推進協議会の主催で毎年開催しているものです。

1月16日には、星鹿小学校の6年生20人が参加し、市税務課の松尾沙織主事が講師を務め開催。参加児童は、税金の種類やしきみ、税金の大切さなどをビデオやクイズなどを通して楽しく学びました。

川口なつ美さん（星鹿・下田、12）は「税の大切さがよく分かりました。これからも税金について勉強したいです」と感想を述べました。

マーコット収穫最盛期

志佐町の池成マーコット生産組合（石井英治組合長、6戸）農家のビニールハウスで1月中旬、マーコットの収穫が行われました。（写真は岡本政敏さんのハウス）

今年は気候にも恵まれ、糖度や玉太りは上々。例年並みの約20トンの収穫を見込んでいます。

収穫されたマーコットは、低温貯蔵庫に約1か月間保管し、酸味を抜きながら完熟させ、主に関東・関西方面に贈答用として出荷されます。また、2月中旬には市内の高野直売所でも予約販売される予定です。



まちの話題



福祉車両が寄贈される

身体障害者通所授産施設「福祉の里松浦作業所」（田中廣太郎理事長）に1月23日、福祉車両が寄贈されました。

この車両は、日本テレビ系列「24時間テレビチャリティー委員会」が昨年8月に集まった募金で、応募のあった団体や個人などから選び、寄贈したものです。後部に車椅子乗降用のリフトが付いた10人乗りのワゴン車です。田中理事長は「今までの送迎車両は古くなり故障も多く、車椅子対応ではなかったため、職員も障害者も乗り降りに負担がありました。国民の善意でいただいた車なので大切に使用していきます」と話していました。



元気いっぱいに歌などを披露

志佐小と同小PTA主催の「第18回ふれあいコンサート」が1月25日、文化会館で開催されました。

今回は「笑顔はみんなの宝物」をテーマに、各学年ごとに歌や踊りを元気いっぱいに披露。また、地域からの参加もあり、松浦太鼓や松浦高校・志佐中学校吹奏楽部の演奏なども披露され、会場を訪れた保護者などから大きな拍手が送られていました。



平戸法人会が租税教室

平戸法人会(倉田友路会長)が1月27日、今福小学校で租税教室を行いました。

会員自らが経営者と納税者の立場から講師となり、子どもたちに税金の役割や納税の大切さを理解してもらおうと企画されたもの。この日は会員の吉永重隆さん(今福・寺上、41)が講師を務め、税金がなくなった世界を仮定したビデオなどを見ながら納税の大切さなどを説明しました。

参加した同小6年の43人からは、道路の管理や修理、救急車や消防車などを呼ぶのにも税金が使われていることを再認識できたなどの意見が出されていました。

市PTA連合会が研究大会

松浦市PTA連合会(藤田英敏会長)の研究大会が2月1日、文化会館で開催されました。

子どもたちの健やかな成長を目指して毎年開催。今年は、「もう一度見直そう、親の役割・大人のあり方～育てよう!元氣な子どもと元氣な大人 聞こう、話そう、PTAの底チカラ～」を研究テーマに開催されました。

九州ルーテル学院大学の畑誠也客員教授が、「教育の基本～元氣な子どもづくり～」と題して基調講演を行い、「元氣な子どもを育てるには朝食をしっかり食べさせることが大切。箸が立つほどの具沢山のみそ汁など充実した朝食を食べさせましょう」と呼びかけました。

大会に参加した市内の小中学生の保護者など約500人は、家庭での手づくりの食事の重要性などを学んでいました。



地域交通安全活動推進員に委嘱状交付

交通安全活動推進員の委嘱状交付式が1月28日、松浦警察署で行われました。

推進員は、ボランティアで、任期は1月1日から2年間。地域における交通安全指導・教育のリーダーとして、交通事故防止・交通安全意識の高揚などの活動を推進します。

下記の方が長崎県公安委員会から委嘱され、岩田廣文松浦警察署長から委嘱状を受け取りました。また、3期6年間同委員を務めた吉福秀夫さん(志佐・田ノ平)に感謝状が贈られました。

坂田 栄二(今福・坂野) 再任
中倉 勇(志佐・蛭子崎東) 再任
松本 義夫(御厨・駅通) 再任
田中 幸雄(今福・滑栄) 再任
城 銀次郎(志佐・下高野) 新規



豊作を祈り葉タバコの種まき

松浦葉たばこ生産組合(久保川一組合長)が1月27日、御厨町の組合共同育苗ハウスで葉タバコの種まきを行いました。

種まきには、同組合員や江迎町・鹿町町の生産農家約20人が参加。1ミリの小さい種を水に混ぜ、500㎡のハウスに敷き詰められた苗箱にじょうろでまいていきました。

まかれた種は、20日程度育苗した後、組合員がそれぞれ持ち帰り栽培ポットに移植。3月中旬に畑に定植し、5月中旬ごろから収穫する予定です。



福っ娘が豆まき

2月3日、今福神社で節分祭があり、福っ娘に扮した中学生による豆まきが行われました。

地域に残る文化の継承と、町の活性化を目的にはじめて今回で10回目。この日は、今福中2年の久重路遥さん、川原愛佳さん、太田千晶さんの3人が福っ娘を務めました。巫女の衣装を身にまとった3人が「鬼は一外! 福は一内!」と元気に豆をまき、集まった氏子たちはうれしそうに豆を拾っていました。また、この日は、今福神社のほか町内3カ所で巡回豆まきも行われました。

